



稲穂 小樽市立稲穂小学校
学校だより No.1
令和6年 4月 8日
文責 校長 遠藤 隆典

【学校の教育目標】
りこうで たっしやで ほがらかな 稲穂の子

稲穂小 WEB



あたたかいチーム力で、子どもの主体的な学びに伴走していく学校を

校長 遠藤 隆典

新しい1年が始まりました。お子さまの入学・進級、おめでとうございます。
新1年生 50名と2名の転入児童を迎えた全校児童260名、そして、教職員も9名が新たにチーム稲穂小に加わり、129年目の稲穂小学校が出発しました。

教育目標「りこうで たっしやで ほがらかな 稲穂の子」に向かって、全教職員で「誰一人取り残さず全ての子どもの可能性を引き出す教育」の実現を目指していきます。

今年度は、子どもたちに確かな資質・能力を育成する要となる「**主体的に考え判断していく力の育成**」を最重点目標として、様々な教育活動の充実に努め、子どもたちに主体的に動く姿を求め・育て、「主体性」を育んでいきたいと考えています。

真面目で一生懸命な本校児童のよさをさらに高めながら、自分で何をすべきか、どうしたらいいか考え判断し行動していく「**主体的な力**」を育みます。それが、未来社会において、自信をもって困難なことにも前向きに挑戦し乗り越えていくたくましい生きる力になっていきます。

そこで、今年度の目指す学校像を「**主体的な学びを支え、伴走していくあたたかい学校**」としました。

昨年に引き続き、チームスローガン「**あたたかいチーム力**」のもと、全職員で「児童へのあたたかいかわり」を学校経営推進の重要な根幹として、学校運営を進めていきます。



子どもたちが学習・生活の中で生き生きとチャレンジしていく姿を全職員で支え、伴走していきます。

求められる資質・能力、主体的に学ぶ力を高める授業改善にもタブレットの活用も含めて全学年で更にブラッシュアップしていけるよう努力して参ります。また、子どもや保護者の様々な不安や困り感にも寄り添い「教育相談しやすい学校づくり」を目指し、全ての子どもの学びの充実に繋げて参ります。全職員でチーム力を高め、教育活動を充実させていけるよう努力していきます。今年度も変わらぬあたたかいご支援、ご協力を、よろしくお願いいたします。

職員新メンバーです！ よろしくお祈いします！

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ○ [Redacted] 教頭 (山の手小学校より) | ○ [Redacted] 教諭 (塩谷小学校より) |
| ○ [Redacted] 教諭 (朝里小学校より) | ○ [Redacted] 教諭 (新規採用) |
| ○ [Redacted] 教諭 (期限付教諭) | ○ [Redacted] 養護教諭 (期限付教諭) |
| ○ [Redacted] 用務員 (西陵中学校より) | ○ [Redacted] 用務員 (新規採用) |
| ○ [Redacted] 図書館司書 (新規採用) | |

あたたかさ^oと結束力を高めてがんばります！

校長		わくわく1組		通級指導教室	
教頭		2組		通級指導教室	
主幹教諭		2組副担任		通級指導教室	
1年1組		3組		通級指導教室	
2組		4組		通級指導教室	
2年1組		わくわくフリー		通級指導教室	
3年1組		わくわくフリー		事務職員	
2組		算数専科		事務職員	
4年1組		理科専科(西陵中)		事務職員	
5年1組		外国語専科(菁園中)		用務員	
2組		書写・算数 T.T		用務員	
6年1組		養護教諭		給食配膳員	
2組		特別支援教育支援員		給食配膳員	
初任者指導(本務校)		スクール・サポート・スタッフ		図書館司書(本務校)	

タブレットの持ち帰りが増えます！ご協力、よろしくお願い致します！

子どもの家庭での学びの充実を目指し、今年度はタブレット端末を家庭に持ち帰る日を全学年で増やしていきます。プリントによる学習も大切なので無くなりませんが、日々の端末管理・充電へのご協力をいただくことになります。登下校時のカバンの重さ対策は一部教科書を教室に置く配慮等を工夫していきます。よろしくお願い致します。

家庭に持ち帰る以下のメリットを生かし家庭学習の充実につなげていきます。

①ドリルなどの学習アプリを活用し、主体的に学び深めていきます。

→取り組んだ問題は、すぐに自動採点され、間違えた問題の解き直しに取り組めます。

担任も個々の取組の状況を端末で確認でき、個別指導にも役立てられます。

②興味ある学習や取り組みたい様々な教科の学習を自分で選択し、問題に挑戦していきます。→課題を見つけ自分なりに学ぶ主体的に学習に取り組む意識につなげます。

③課題を決め多様な調べ方や表現で工夫してまとめるなど、自分なりの学びに取り組む。→主体的に学ぶ姿として重要な「探究していく学び」を重ねることができます。

④欠席時に家庭とオンラインで学級の学習とつなげられます。

また、今後、学校からの各種連絡(予定や持ち物など)やお便りの配信なども検討していきます。→学校と家庭の学びを繋ぐことができます。



「安心メール」が後日「テトル」へ変更となります。詳細は後日お伝え致します

家庭への連絡ツールとして「安心メール」を活用してきましたが、今後「テトル(tetoru)」というものに変更していきます。テトルは、小樽市教育委員会が導入した連絡ツールです。欠席連絡や文書配信などもテトルで引き続き行っていきます。



後日、配付資料に基づいてテトルへの登録作業をしていただく必要があります。お手数をおかけ致しますが、その際は、ご協力をよろしくお願い致します。